

当院では、COVID-19の入院を受け入れ、国や都が主導する以下の研究に参加しております。
 個人情報は匿名化の上でデータとして登録され、病気の特性や公衆衛生的な状況の把握などに利用されます。
 詳細は以下をご覧ください。

参加を希望されない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益を生じることはありません。

研究課題名	COVID-19に関するレジストリ研究（略称：COVIREGI-JP）
目的	COVID-19感染症の患者の臨床経過、臨床像を明らかにし、重症化する方の特徴や経過、薬剤投与後の経過、感染状況の把握など、COVID-19に関する様々な点について明らかにするための情報を集めることを目的とする。
研究期間	2020年7月1日～2026年3月31日
対象となる方	COVID-19と診断され、当院に入院された方
使用する情報	上記の対象期間中に記録された診療情報（年齢、性別、発症日や入院日、基礎疾患・併存疾患、転送歴、生活習慣、出生国、人種、COVID-19の罹患に関わる疫学的情報、内服歴・治療歴、妊娠の有無、身長・体重、以前のCOVID-19感染歴やワクチン接種歴、入院時の症状・徴候や全身状態、薬剤や酸素などその他の治療の状況、合併症、転帰、臨床検査結果、臨床画像所見など）を研究に使用させていただきます。使用に際しては、文部科学省・厚生労働省が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
外部への試料・情報の提供	研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。提供されるデータと該当する患者さんを記録しておく匿名化対応表は、該当する患者さんが診療を受けた病院の研究責任者や個人情報管理者などが保管・管理します。研究のデータは、WHOなどの国際的な研究グループと共有する場合があります。その場合、匿名化対応表は提供せず、個人の特定ができない状態で共有します。また、社会的意義がある等の理由で本研究データ利用のための審議で認められた場合のみ、研究データを企業等が利用する可能性があります。この場合も個人の特定はできません。
研究組織	研究代表機関： 国立研究開発法人国立国際医療研究センター 大曲 貴夫 情報提供機関： COVID-19の方を診療した国内全ての医療機関
利益相反について	利益相反の状況は、研究代表機関においては NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。共同研究機関においてはそれぞれの機関のルールにのっとり適切に報告・管理されます。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。
研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等	ご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料、研究成果の一部などをご覧ください。以下の URL からご確認ください。 https://covid-registry.ncgm.go.jp/general/
本研究全体の研究代表者	研究代表機関： 国立研究開発法人国立国際医療研究センター 大曲 貴夫 情報提供機関： COVID-19の方を診療した国内全ての医療機関
当院の研究責任者	東都文京病院 副院長 斎藤博紀 03-3831-2181(代)